

## 2 Topics

# 知らないままでいいですか 赤ちゃんのB型肝炎ワクチン

B型肝炎ワクチンは、任意接種のワクチンです。同じ任意接種でもみずぼうそうやおたふくかぜワクチンは多くの保護者の方々に知られていますが、B型肝炎ワクチンはあまりなじみのないワクチンです。はじめて耳にした人もいるかもしれませんが、B型肝炎は、だれでもかかる危険性のあるVPDです。

### B型肝炎ワクチンは、 B型肝炎ウイルスの感染を防ぎます

全世界では、約3億人がB型肝炎ウイルスに感染し、それに関わる病気で、毎年約60万人が死亡しています。日本では、B型肝炎ウイルスの感染者は約100万人(100人に1人)と推定されています。

日本のB型肝炎対策としては、キャリア\*の母親からの感染(垂直感染)を予防する母子感染防止策が1986年から始まりました。母子感染防止策では、生後すぐに抗HBs人免疫グロブリン(HBIG)を投与し、その後B型肝炎ワクチンを接種します。しかし、近年、乳幼児が、父子感染や感染経路がわからずにB型肝炎ウイルスに感染する例が増えており、母子感染予防だけでは、対策が不十分といえます。

これからのB型肝炎対策としては、「だれでもかかる可能性のあるVPD(ワクチンで防げる病気)」として、赤ちゃんのうちにワクチン接種で予防することが重要です。

\*キャリアとは、B型肝炎ウイルスを体内に保有(持続感染)しているが、発症はしていない状態

### 赤ちゃんへのワクチン接種で B型肝炎を予防しよう

B型肝炎ウイルスの感染後の経過は様々ですが、3歳以下の子どもが感染すると、キャリアになりやすく、キャリアになると慢性肝炎になることがあります。慢性肝炎になると長期にわたる治療を要し、最悪の場合、肝硬変や肝臓がんなどの命にかかわる病気を引き起こします。また、急性肝炎から劇症肝炎を起こし、死に至るケースもあります。

### 知らないうちにかからない、うつさないために

肝臓は「沈黙の臓器」といわれ、自覚症状がないまま病気が進行してしまいます。B型肝炎ウイルスに感染しただけでは、ほとんどは症状が現れません。このため、本人が感染に気付かずに、大切な家族やパートナーにうつしてしまうことがあります。実際に小さな子どもが感染したケースで、いつ、どこで感染したかがわからない例も少なくありません。

大切な赤ちゃんがB型肝炎ウイルスにかからないために、大切な人

### B型肝炎ワクチンは、将来、肝臓がんから 命を守る「がん予防ワクチン」です

B型肝炎ウイルスに感染し、キャリアになると、キャリアのうち約10%の人は慢性肝炎を発症し、肝硬変、肝臓がんへと進行する危険性が高くなってしまいます。肝硬変になると3人に1人が肝臓がんを発症しています。肝臓がんはがんの中でも死亡率が高く、がん全体の死亡者のうち男性で14.3%(第3位)、女性で8.6%(第4位)を占めています。その割合は、この30年で3倍にもなり、今後も増加が予想されています。

### 赤ちゃんをキャリアに しないために、早めの接種

B型肝炎ウイルスに感染しても、誰もがキャリアになるわけではありません。でも、子ども、とくに3歳未満の乳児がB型肝炎ウイルスに感染すると、キャリアになる危険性がずっと高くなります。キャリアになると、慢性肝炎になりやすく、将来、肝硬変から肝臓がんへ進行することがあります。赤ちゃんが生まれたら、できるだけ早いうちにB型肝炎ワクチンでウイルスから守る、あまり知られていませんがとても大切なことです。

### 世界の常識を、 日本の赤ちゃんにも

WHO(世界保健機関)は、1992年、世界中の子どもたちに対して、生まれたらすぐにB型肝炎ワクチンを国の定期接種として接種するように指示し、現在、ほとんどの国で定期接種になっています。これは、ユニバーサルワクチネーションといい、母子感染(垂直感染)、父子などからの乳児期の水平感染、性交渉での成人の水平感染を予防し、感染源の撲滅や肝硬変や肝臓がんなどによる死亡をなくそうとしています。

WHOのホームページには、「B型肝炎ワクチン3回の接種率」を色分けしたマップがあります。マップからは、日本ではほとんど知られていないB型肝炎ワクチンが、世界の国々では、「3回接種が常識」であることがわかります。

### きちんと知ろう! B型肝炎ワクチン

QRコードで簡単アクセス B型肝炎ワクチンの詳しい情報は

携帯サイト  
<http://www.know-vpd.jp/m/>



B型肝炎ワクチンを保護者の方にきちんと知っていただくために、ポスター(左ページ)を制作・配布してワクチン接種を呼びかけています。同時に、ウェブサイト『KNOW★VPD!』で、くわしいB型肝炎情報を発信。ポスターのQRコードからは、すぐに携帯サイトにアクセス、チェックできます。

## 3 Report

# 会の活動をご報告します。(2010年10月~2011年2月)

### 第5回「VPDを知って、子どもを守ろう。」の会プレスセミナー開催

2010年11月29日に東京都千代田区・東京ステーションコンファレンスにて第5回プレスセミナーを開催しました。今回のテーマは、「知って欲しい”無視されてきたがん予防ワクチン、B型肝炎ワクチン”のこと~日本の赤ちゃんにも、B型肝炎ワクチン!」。ゲスト講演は当会の会員でもある済生会横浜市東部病院こどもセンター 肝・消化器分野 専門部長の藤澤 知雄先生です。B型肝炎ウイルス感染の実態や世界のB型肝炎ワクチンの現状についてご講演いただきました。パネルディスカッションでは、「B型肝炎から子どもを守るために、私たちができること、すべきこと」について、菌部先生と藤澤先生が出席した約30名のメディア関係者と活発な意見交換、質疑応答が行われました。

### 厚生労働省主催『全国都道府県担当者会議』 の資料としてスケジュール表を配布

2010年12月9日に開催されました厚生労働省主催会議(テーマ:子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進臨時特例交付金)で、当会発行の『予防接種スケジュール』が配布されました。質疑応答集の「どのような接種スケジュールが望ましいのか。」の回答として国立感染症研究所感染症情報センター(日本の小児における予防接種スケジュール)とともに、当会の予防接種スケジュールが記載されました。これにより、全国の多くの自治体、保健所等のホームページや配布資料に、会がおすすめする予防接種スケジュールが掲載されるようになりました。

### 保護者向け、自治体向けの啓発&会員募集活動

**11月19日(金)……東京都自治体担当者向けワクチンフォーラム共催(東京都新宿区)**  
**11月20日(土)……小児救急啓発イベント「Kid's99」にて資料配布(沖縄県浦添市)**  
**12月11日(土)・12日(日)……第14回日本ワクチン学会にてブース出展(東京都千代田区)**

- 出演&記事&取材協力(2010.10-2011.2)
- フジテレビ『とくダネ!』(2010.11.09)
  - 『ゲンキのモト』vol.22冬号(2010.12.01)
  - 日経トレンディネット(2010.11.22)
  - 赤ちゃんとママ『季刊1・2・3歳冬号』(2010.12.10)
  - 『浜松こども情報』2010年冬号(2010.12.20)
  - メディカルトリビューンMT pro(2010.12.01)
  - プレジデント社『PRESIDENT』2011.1.17号(2010.12.25)
  - 『ハッピーノート』2010年増刊号(2011.01.10)
  - Gooヘルスケア(2010.12.21)
  - 『NHKすくすく子育て育児ビギナーズブック(4) 健診・予防接種』(2010.11.27)
  - 育児支援サイト『すくすく.COM』(2010.11.01)
  - 携帯サイト『ベビカム・らくらくモバ育』(2010.10.18)
  - 愛育ネット(2010.11.12)